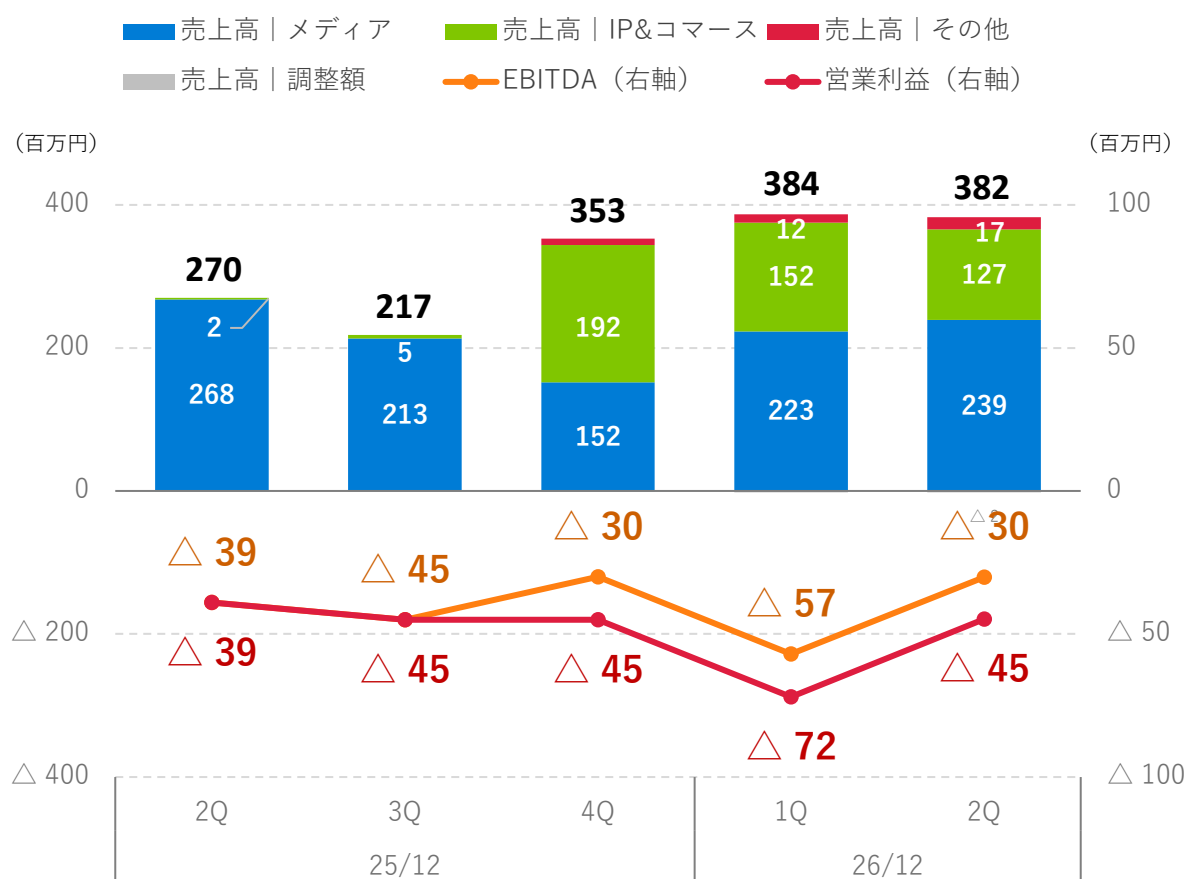


2026年12月期 第2四半期決算サマリー

ハイライト

上半期で悪材料は一巡。
4月以降の新執行体制の元、
下半期は反転の見込み。



過去2四半期の減収要因だったサッカー新シーズン以降影響反転

25/12期以降の減収要因だった一部顧客のインシデント影響改善

Musica labに係るのれんの一部減損で今後ののれん償却費は縮小

上記主因に赤字幅縮小見込み、黒字化に向け収益改善に邁進する

2Q売上高はQoQで横ばい

メディアは売上増加も、 IP & コマースが売上減少

ポイント

メディア事業

メディア共創企画の一部顧客のインシデントによる一時的な売上高の減少から回復途上

IP&コマース事業

Jリーグのシーズンカレンダー変更の影響により、musica labの売上高が減少

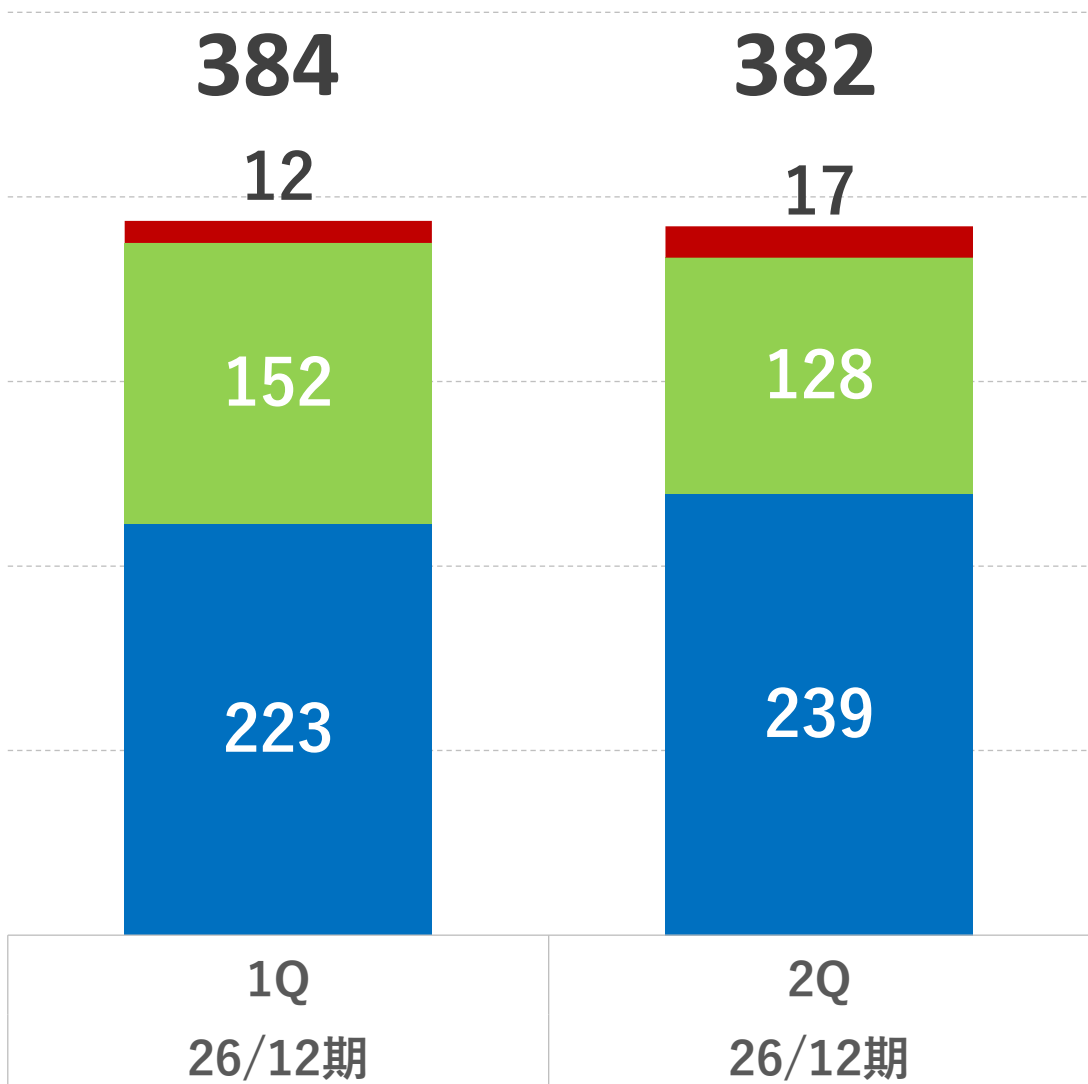
QoQ **99.4%**

(百万円)

■ その他

■ IP & コマース事業

■ メディア事業



注：26/12期1Q及び2Qについて、グラフ外に調整額△2が存在している点に留意されたい。

連携先企業ネットワークを拡充中。

新たな事業提携先との資金プロジェクト事例を続々発表。

過去からの連携先



新たな事業提携先



「推し活」
クレジットカード
の発行支援



スポーツ大会向け
オリジナルグッズ制作



ご当地インフルエンサー発掘/マッチング



「リーグ”奈良クラブ”」
の集客支援/地域活性化

直近のPJ事例



“新中長期経営方針”

時価総額100億円超の定着を
大目標に、30/12期までの5ヵ年
で売上高「CAGR + 40%」、営業
利益率「10+ %」を実現する。

2030年までに
時価総額100億円超の定着を実現

財務目標

売上高 5ヵ年CAGR

+ 40 %

30/12期 営業利益率

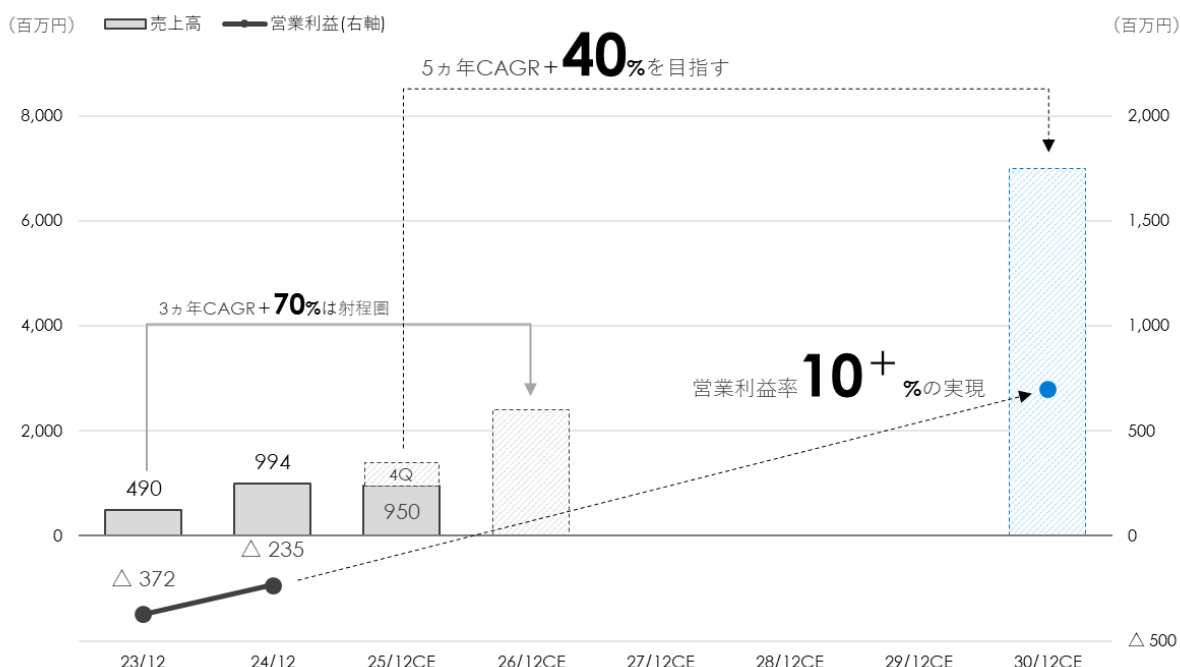
10+ %

事業目標

マイクロ・エコノミー支援実績数

期間累計 100 件

事業コンセプトは、日本国内の眠れるアセットを再活用し、ひと・まち・文化がめぐる新たな経済循環を創出するとした。



新 中長期経営方針

前 中期経営方針

※ 前 中期財務目標は取り下げず、
その延長線上として、新中長期経営方針をアドオンする

本資料の取り扱いについて

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- 発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

詳細は決算短信及び決算説明資料
(PC版) を参照ください